

**ご予約** ご予約フォームより受け付けています。空き状況や休館日はホームページのカレンダーをご確認ください。

	予約受付	開館時間	所要時間	定員	料金	ご予約フォーム
見学	2日前 ※前日～当日のご予約は お電話にてお願い致します	9:00～17:00 (最終受付 16:00)	15分～30分	30名まで	無料	
語り部	7日前	9:00～20:00 (最終スタート 19:00)	6名以下 60分～90分 7名以上 75分～90分	30名まで	有料 (当日現金精算)	
宿泊研修	7日前	チェックイン 14:00～21:00 チェックアウト 10:00まで	—	25名まで	有料 (当日現金精算)	



# 陸前高田



3.11

## 仮設住宅体験館

### 陸前高田グローバルキャンパスのご案内

3.11仮設住宅体験館と同じ敷地にある「陸前高田グローバルキャンパス」にて以下を展示しています。  
見学のみは予約不要・無料ですが、体験プログラム(体)は事前予約制・有料です。右記QRからお問い合わせください。



#### 「失われた街」模型復元プロジェクト ふるさとの記憶

見学無料



震災前の街並みを1/500縮尺で復元した模型を展示しています。神戸大学の槻橋研究室をはじめとする全国各地の学生が白模型を製作し、地元の皆さんと一緒に着色したり思い出の場所に「記憶の旗」を立てたりしました。

(体) テーマ：災害状況を想像する力を高める

#### 安田菜津紀写真展

「この街で、これからも～陸前高田に生きる～」

見学無料



フォト・ジャーナリストの安田菜津紀さんは、東日本大震災直後から、陸前高田の街と人々の営みを撮り続けてきました。その一部を彼女の言葉と共にお届けしています。

#### 避難所と在宅避難 展示

見学無料



東日本大震災における避難所の状況と、避難所生活への備蓄品や在宅避難への工夫などをまとめたパネルを展示しています。段ボールベッド、カーテン仕切り、災害用テント、マンホールトイレなどの現物もご覧いただけます。

(体) テーマ：自分の命を守るための知恵を身につける

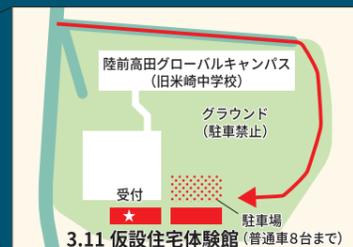
### ACCESS 3.11仮設住宅体験館

岩手県陸前高田市米崎町字神田113-10



大船渡方面から  
国道45号線を気仙沼方面に進み「産直はまなす」通過後、国道45号線を左斜め方向に降り、丁字路を左折後、直進約600m

気仙沼方面から  
国道45号線を大船渡方面に進み、米崎郵便局の交差点を右折後、丁字路を右折し約250m



最寄りのバス停から徒歩20分前後かかるため、レンタカーやタクシー、レンタサイクルなどを推奨しています。

お問い合わせ 3.11仮設住宅体験館事務局 (一般社団法人トナリノ)

☎ 080-2830-8412 (受付時間 9:00～17:00)

✉ info@311kasetu.com



ホームページ



Instagram

東日本大震災で  
使われた仮設住宅を  
再現して宿泊研修  
できるのは  
全国でここだけ!

見学



語り部



宿泊研修



※すべて予約制です。

陸前高田市では、震災の教訓を伝える場、防災・減災を学ぶプログラムの一環として、震災当時に使用した応急仮設住宅の一部を活用し体験宿泊施設を整備しています。実際に仮設住宅で生活していた方々に語り部等として参画を求め生業と生きがいの場を創出することで、コミュニティの活性化や交流人口の拡大を図ることを目的としています。

当館は、陸前高田市内に53箇所あった応急仮設住宅団地の内、旧陸前高田市立米崎中学校グラウンドに建設された「神田仮設団地」の2棟8戸です。同敷地には2011年6月に18棟89戸が建てられ、最大で267名が住んでいましたが、震災から約8年半後の2019年(令和元年)下半期に入居者全員が退去しました。

※当時は地震の発生に伴う災害救助のために必要な応急的な仮設建築物として、緩和措置(建築基準法第85条第5項)を適用し木杭の上に建設されました。当施設は本設となることから、建築基準法に則りコンクリート基礎に改修しています。

※応急仮設建築物から旅館へ用途変更したことから建築基準法に則り排煙設備が必要となり、各部屋の上部に小窓を増設しています。

# 3.11仮設住宅体験館ってどんなところ？

東日本大震災で被災され仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、当時の部屋を再現しています。暑さ寒さ、狭さなどの住環境の状況を追体験するだけでなく、隣近所での支え合いやボランティアからの温かい支援があって前を向くことができた様々なエピソードも知り、防災対策やコミュニティづくりなど、自分自身が今からできることを考えてみましょう。

## 陸前高田市の仮設住宅建設の流れ

岩手県内で被災者が一番多かったため、発災当時は3,600～4,000戸の建設を想定しましたが、みなし仮設住宅制度や近隣自治体に仮設住宅が建設されたことで2,148戸の建設となりました。建設後は、日本赤十字社より「生活家電6点セット」として、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、炊飯器、電気ポットを寄贈いただきました。



2011年3月11日	東日本大震災発生
3月16日	岩手県からの建設候補地の現地調査
3月19日	第1弾着工(陸前高田一中仮設住宅)
3月30日	第1弾完成、第2弾着手
6月末	全ての土地が決定
7月27日	全ての建設工事が終了
8月11日	最終説明会、鍵の引き渡し

出典：岩手県庁ホームページ「応急仮設住宅の建設に係る進捗状況について」

## 見学

無料

展示室を見学します。生活する上で大変だったこと、それに対して工夫をしたことを、施設管理スタッフより説明いたします。(所要時間15分程度)



## 語り部

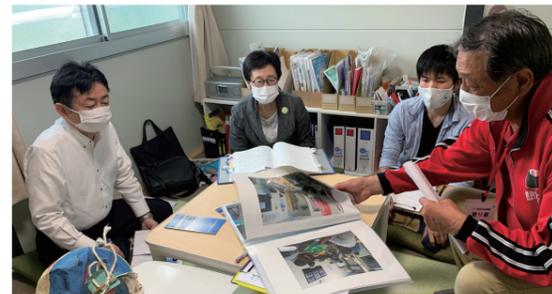
有料

地元住民が経験談をお話します。仮設住宅に関する内容が中心になりますが、震災時のことや避難所生活についても聞きになりたい方は、ホームページの予約フォームにできるだけ具体的にご記載ください。

参加人数	料金(税込)
1名～9名	8,000円
10名～19名	10,000円
20名～30名	15,000円

※以降、要相談。

ご希望の日時によっては地元住民からの話が難しいこともあります。経験談をスタッフが代弁することもありますので、予めご了承ください。



※展示物をゆっくりご覧になったり、語り部と交流されたい場合は、所要時間90分を推奨しています。予約フォームにご希望の時間をご記載ください。※事前学習としてオンラインでの提供も可能です。参加人数と料金は同様です。

## 仮設建築物を利用した近隣の関連施設

### たまご村(岩手県陸前高田市)

2012年6月にオープンしたプレハブの「仮設商店街」が、2020年7月に「村」として再スタートしました。中心市街地に移転・再建できない人や、市内外のNPOなどの異業種連携を図っています。施設内の視察や震災当初の講話も行っています。



#### お問い合わせ

たまご村事務局  
☎ 090-8585-9607

### イコウェルすみた(岩手県住田町)

木造戸建ての仮設住宅の部材を再利用して建設した、オフィス棟・滞在体験棟などを有する施設です。展示棟では震災後の住田町の後方支援等に関する資料を展示しています。

#### お問い合わせ

住田町企画財政課政策推進係  
☎ 0192-46-2114  
イコウェルすみた  
☎ 0192-47-5075



## 宿泊研修

有料

東日本大震災において仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、7部屋を家族構成別に再現しています。ご希望の部屋タイプにご宿泊いただけます。

### 防災食を販売しています！

防災食とは、災害などの非常事態により食料の確保が困難になることを想定して準備しておく食品です。

仮設住宅の暮らしで防災食を食べていたわけではありませんが、宿泊研修時の食事や自宅での備蓄用などとして、この機会には是非お試しください。

アレルギー、アレルギー対応食もご用意しています。



### 自炊する調理器具が揃っています！

キッチンの狭さや、暑さ寒さを体験できます。食材はご自身でご用意ください。

### 地元の語り部の皆さんのお話が聞けます！

1泊では分からない「暮らし」のイメージが深まるため、セットでのお申込みを推奨しています。

## ●部屋タイプ

部屋番号	間取り	宿泊定員	生活モデル
17-1	2DK	3名	20代夫婦と乳幼児
17-2	1DK	2名	80代1人暮らし
17-4	3K	6名	親子5人暮らし
18-1	2DK	4名	60代夫婦2人暮らし
18-2	1DK	2名	20代1人暮らし
18-3	2DK	3名	60代夫婦とペット
18-4	3K	5名	2世帯7人暮らし

ご準備いただきたいもの ・タオル・歯ブラシ・髭剃り など

ご利用いただける家電 ・冷蔵庫・IHクッキングヒーター  
・電子レンジ・ドライヤー など

※その他、ご利用いただける設備や消耗品についてはホームページをご確認ください。

## ●宿泊料金

右記料金の他に、1名あたり寝具料金1,000円がかかります。

※1名あたりの金額は、右記料金を利用人数で割った金額です。

部屋タイプ	1室料金(税込)
1DK	10,000円/室
2DK	13,000円/室
3K	16,000円/室

## 3.11仮設住宅体験館でこんなことをやってみよう

### 暮らしメモを見て想像しよう

生活する上で苦労されたことや工夫、ご近所さんとのエピソードなどを、部屋のいたるところに掲示しています。



### 柱と壁を触ってみよう(冬季)

鉄製の柱と梁は外気の影響を受けて、夏は熱く冬は冷たくなります。冬はストーブを使うことで天井や壁、床なども結露し、カビが多く発生しました。



### スリッパを脱いで立ってみよう(冬季)

冬はとても底冷えします。当時は応急的な仮設建築物として木杭の上に建設されたため地面と床が近く、布団や寝巻を複数枚重ねても夜中に目が覚めたそうです。



### 隣の部屋の音を聞こう(知人同士での利用に限ります)

当館の壁には断熱材が入っていますが、壁の近くで話したり壁に衝撃を与えたりすると、隣の部屋まで聞こえます。

